

大子町における、地域活性化プロジェクト

教育・研究

ボランティア

課外活動

地域交流

国際交流

代表者：教育学部学校教育教員養成課程 3年 阿部 巧

連携先

- ・大子町教育委員会
- ・大子町役場
- ・旧初原小学校（以下ぼっちの学校）の学校
周辺の地域の方々
- ・NPO法人大子障害者支援事業所

顧問教員

生越 達（教育学部・教授）

参加者

星 直希	教育学部学校教育教員養成課程 1年
山崎 龍生	教育学部学校教育教員養成課程 1年
工藤 遼	教育学部学校教育教員養成課程 1年
高坂 津	教育学部学校教育教員養成課程 1年
平山 稜	教育学部学校教育教員養成課程 1年
湊上 尚也	教育学部学校教育教員養成課程 1年
自見 亮太	教育学部学校教育教員養成課程 1年
小泉 友輝	教育学部学校教育教員養成課程 1年
秋山 義哉	教育学部学校教育教員養成課程 1年
大久保 葵	教育学部学校教育教員養成課程 1年

川瀬あさひ	教育学部学校教育教員養成課程 1年
神長美沙希	教育学部学校教育教員養成課程 1年
石田 美咲	教育学部学校教育教員養成課程 1年
高木夕美香	教育学部学校教育教員養成課程 1年
上原奈津美	教育学部養護教諭養成課程 1年
氏家 七海	教育学部養護教諭養成課程 1年
江口 奈和	教育学部養護教諭養成課程 1年
鎌田 梨沙	教育学部養護教諭養成課程 1年
関口 美穂	教育学部養護教諭養成課程 1年
松田 芽生	教育学部養護教諭養成課程 1年
岩附 祐勢	人文学部社会科学科 1年
高本 創馬	人文学部社会科学科 1年
平野 剛	工学部知能システム工学科 1年
大川 貴祥	工学部都市システム工学科 1年
三上 和真	工学部情報工学科 1年
飯島 僚	理学部理学科 2年

犬童 洸貴	教育学部学校教育教員養成課程 2年
垣内 七海	教育学部学校教育教員養成課程 2年
小松 舞美	人文学部社会科学科 2年
坂口竜之介	教育学部学校教育教員養成課程 2年
高橋 和也	教育学部学校教育教員養成課程 2年
田村 諒奈	教育学部養護教諭養成課程 2年
千葉 瑞季	教育学部学校教育教員養成課程 2年
豊嶋 咲	教育学部養護教諭養成課程 2年
新田 幸広	教育学部学校教育教員養成課程 2年
三宅 貴史	教育学部学校教育教員養成課程 2年
森島 明生	教育学部学校教育教員養成課程 2年
加藤 俊	教育学部人間環境教育課程 2年
河内 美紀	教育学部学校教育教員養成課程 2年
阿部 巧	教育学部学校教育教員養成課程 3年
伊坂 志帆	人文学部社会科学科 3年
石井 努	工学部知能システム工学科 3年
大竹 夏未	人文学部人文コミュニケーション学科 3年
小川 泉	教育学部学校教育教員養成課程 3年
川崎 麻貴	教育学部情報文化課程 3年
茂野 藍矢	教育学部養護教諭養成課程 3年

関根 望	教育学部学校教育教員養成課程 3年
高木 和音	教育学部学校教育教員養成課程 3年
辻 翔貴	人文学部社会科学科 3年
寺尾 弘規	工学部機械工学科 3年
仲澤 圭汰	工学部機械工学科 3年
中津 祐也	農学部地域環境科学科 3年
中村 勇太	教育学部学校教育教員養成課程 3年
生田目慶都	農学部地域環境科学科 3年
廣瀬 朝美	教育学部養護教諭養成課程 3年
曲山 康平	農学部地域環境科学科 3年
松本さおり	教育学部学校教育教員養成課程 3年
横田 千尋	人文学部人文コミュニケーション学科 3年
熱田 佳苗	教育学部学校教育教員養成課程 4年
飯野 朋恵	教育学部学校教育教員養成課程 4年
飯村真理奈	教育学部学校教育教員養成課程 4年
佐々木 舞	教育学部学校教育教員養成課程 4年
塩谷 仁実	理学部理学科 4年
若井田 萌	教育学部学校教育教員養成課程 4年
松崎 悠太	教育学部学校教育教員養成課程 4年

プロジェクトの概要

本プロジェクトは、大子町を含む各地域の子どもたちが、私たちが企画、運営するキャンプや、ぼっちの学校内の畑を利用した収穫祭等を通して、大子町という地域との交流活動を実施するものである。

活動を行うに当たり、企画の準備や実施のために月1回程度ぼっちの学校を訪問するが、準備だけでなく、学校の清掃や修繕、畑の整備や植栽などをして学校の景観、利便性を向上させる。ぼっちの学校をよりよくするために学生が頻繁に大子に足を運び、地域の方々と交流しながら活動を通して、他団体のぼっちの学校の利用が増え、大子町の盛況につなげる。ぼっちの学校での活動以外にも、積極的に役場や地域の方々を訪問し、地域の方々と共に活動を進めている。以上のような活動を通し、大子町または当サークルの知名度を高め、大子町の活性化を図る。

プロジェクトの成果報告

〈キャンプ〉

- ・「さまーすくーる in 大子」と称し、8月に2泊3日のキャンプを実施。
- ・水戸市からの応募者が増え、応募者が定員の2倍となり多くの子供が大子町へ訪れた。
- ・大子町以外の子どもが参加できるよう、水戸市の広報活動を強化。
- ・キャンプ中の様子をリアルタイムで届けられるように、ホームページ上で動画配信を行った。
- ・ホームページ上に収まらなかった活動の様子を収めたDVDを作成し、希望者に販売した。
- ・当日は、区長、参加者の保護者や大子町教育委員会の方、参加児童の学校の先生、役場の方が見学者として訪れた。



キャンプ内で実施したキャンプファイヤーの様子

〈収穫祭〉

- ・子どもたちに農業に触れてほしいという思いから、学生が栽培したサツマイモを収穫、調理、実食し、収穫祭と称し、11月に実施。
- ・サツマイモの収穫体験をし、実食することで、収穫の喜びを体験する。
- ・地域の方々のご指導の下栽培し、地域一体となって企画。



地域の方の助言で作成した柵



収穫の様子

〈NPO法人大子の方々との連携企画〉

- ・11月に大子町文化福祉会館「まいん」にて企画を実施。
- ・大子特別支援学校の児童を中心とし、OB・OGも加え活動を行った。
- ・大子特別支援学校の子どもたちに水戸市の大学生と交流する機会を提供。

〈地域支援〉

- ・今年度も引き続き、稲刈り作業と餅つき、薪割りの手伝いをした。薪と米はどちらもキャンプに利用している。



稲刈りの様子

- ・学校の清掃・修繕活動を行い、学校の景観を良くすることで、他団体がぼっちの学校を利用する機会が増加。
- ・地域交流事業の一環として、地域の方のご協力のもと、餅つき大会を今年度も実施。



餅つきのご指導をいただいている様子

〈外部からの評価〉

- ・参加した子どもの保護者からは「周囲の様子を見て、協力したり、自分から進んで仕事ができるようになった。」「料理を作ることに興味を持ち、野菜を切ったり、手伝ってくれるようになった。」などの意見を得た。
- ・区長からは「遠いところから足を運び、事業を継続していることは、非常にありがたい。子どもたちも大子町のいいところを知ってくれたでしょう。引き続き密な関係を築いていきたい。」との意見を得た。

〈今後の展望〉

継続して続けてきたキャンプ活動のため、大子町以外の地域での私たちの知名度が上がり、キャンプの応募者数が定員の約2倍に増えた。そのため、さらに活動の機会を増やすことが求められると考える。

また、木造の校舎であるため、所々に修繕が必要な場所が見受けられる。さらにはハチなどの害虫による被害も想定される。そのため私たちは、ぼっちの学校の清掃、修繕活動に加え、建てつけの悪い部分を直すなどの、更なる学校の整備に力を入れていこうと考えている。私たちだけでは解決できない課題に関しては、大子町役場をはじめとする地域の方々に協力を仰ぎながら課題の解決に励みたいと考えている。